

報復

RETALIATION

ハワード・ジン

2001

テレビの画像には胸が痛む。火の中で、死に向かって跳躍している人々、煙と誇りに巻かれながら、恐怖とパニックのまっただ中にいる人々。私たちは、数千人の人々が生きながら焼かれ、瓦礫の中で息絶えたことを知った。私たちはハイジャックされた飛行機の乗客たちの、衝突、火災、そしてそのなかで死を迎えるのだという恐怖を思い浮かべることができる。これらの光景は、私を怯えさせ、苦しくする。

それから私たちの指導者は、テレビに出演して言った。私は再び怯え、苦しくなった。彼らは報復、復讐、処罰を語った。私たちは戦争の中にあると言った。私は考えた、彼らは何も学ばなかった、絶対に何も。100年の間に報復、復讐、戦争があった、テロとそれに対するテロがあった、暴力が暴力を生むという際限のない愚かさがあったことを。

私たちは皆、数多の罪もない人々を殺した人物に激しい怒りを感じる。しかし、その怒りをどうすればよいのか。私たちはパニックのなかで反応するのか、暴力的に攻撃するのか、私たちの強さを盲目的に示そうとするのか。大統領は宣言した、「私たちはテロリストとテロリストをかくまう国々とを区別しないでであろう」と。私たちはアフガニスタンに爆撃を行うのか、そして必然的に罪のない人々を殺すのか。爆撃は当然にも区別はつけられないのだから。なるほど「区別はしない」！私たちは、テロリストにメッセージを送るためにテロに参加するのであろうか。

私たちは以前行ったこと、考えたり行ったりした過去のことを振り返る。それは決してうまくいかなかった。レーガンはリビアを爆撃した、ブッシュはイラクに戦争をしかけた、クリントンはアフガニスタンを爆撃しスーダンの製薬会社も爆撃した。テロリストにメッセージを送るために。そしてニューヨークとワシントンで、この事件が起きた。テロリストにメッセージを送るのに、暴力では効果がないこと、さらなるテロを招くことは、今まででもうはっきりしているのである。

私たちは、イスラエルとパレスチナの紛争から何も学ばなかったのか。パレスチナ人の爆薬を仕掛けた車とイスラエル政府の戦車の攻撃とが、何年も続けられている。それでもうまくいかず、両陣営で罪のない人々が死んでいる。

もう古い思考ではなく、新しい考えが必要なのだ。私たちは、アメリカの軍事行動による犠牲となった世界中の人々の怒りを想起しなければならない。ヴェトナムではテロとでも言うべき爆撃が農村に対して行われ、ナパーム弾やクラスター爆弾が使われた。チリとかエルサドバドルなどの国々では、私たちは独裁者や殺人部隊を支えた。イラクでは、経済制裁の結果として100万人が亡くなった。そして多分、現在の事態を理解するために重要なのは、ウエストバンクやガザの占領地域であろう。そこでは、100万人以上のパレスチナ人が残虐な軍事的支配のもとに生活している。私たちの政府は、イスラエルにハイテクの武器を供給しているのだ。

私たちは、テレビに示されている怖ろしい死と苦痛の場面が、長い間世界のアメリカ以外の地で続けられてきたことを想起する必要がある。今こそ私たちは、私たちの政策の結果として人々が経験してきたことを知り始めることができるのだ。私たちは、テロに対して怒りを持たない人々がいることを理解しなければならない。

私たちには新しい思考が必要だ。3000億ドルの軍事予算が私たちに安全を与えないこと、世界中にある軍事基地、あらゆる海域の軍艦が、私たちに安全を保障しないこと、地雷が、ミサイル防衛網が私たちに安全を保障しないことを。私たちは世界に於ける自らの位置を再考しなければならない。他民族あるいは自民族を抑圧している国々に武器を送ることをやめる必要がある。政治家やメディアによってどんな理由があげられようとも、私たちは戦争には行かないと決意する必要がある。なぜなら、私たちの時代の戦争は、常に無差別である、罪なき人々に対する戦争、子どもたちに対する戦争、というように。戦争は、100倍に増幅されたテロである。

私たちの安全は、武器や航空機、爆弾ではなく、人々の健康や福祉、すべての人々への医療行為、教育、満足できる給料で保証された家、きれいな環境に国富を費やすことによってしかあり得ないのだ。私たちは、政治指導者が要求するような自由の制限によってではなく、それらを拡大することによってのみ安全なのである。

私たちは、軍隊や政治の指導者が報復や戦争を叫ぶのではなく、騒乱のまっただ中で生命を救ってきた医者、看護婦、医学生、消防夫、警察官を手本にするべきである。彼らのまづはじめの考えは、暴力ではなく癒しであり、復讐ではなく同情なのである。

ハワード・ジンは歴史学者。『民衆のアメリカ史』上・中・下（TBSブリタニカ）

無政府主義図書館 (Japanese)

ハワード・ジン
報復
RETALIATION
2001

<https://web.archive.org/web/20020219175437/http://www1.jca.apc.org/aml/200109/23649.html> (2023 年 2 月 19 日検索)
訳：小池善之

ja.theanarchistlibrary.org